

仕様変更のお知らせ

IC-R30 Version 1.10

仕様変更に伴い、下記のように本製品の機能が変更になりました。

追加 リモート操作対応

専用アプリにより、本製品をリモート操作できるようになりました。アプリのダウンロードとBluetooth接続については、活用マニュアルの8章「Bluetooth®の使いかた」をご覧ください。

追加 受信時優先設定(LE端末)

Bluetooth設定に「受信時優先設定(LE端末)」を追加しました。Bluetooth low energy搭載端末では、D-STARファーストデータとヘッドセットの音声と同時に使用できないため、受信時の優先設定を追加しました。

受信時優先設定(LE端末) (初期設定：受信音)

MENU > Bluetooth設定 > ヘッドセット設定 > 受信時優先設定(LE端末)

変更 P-Scanエッジ登録時の設定制限解除

下限周波数と上限周波数で異なる受信バンドの周波数を設定しても、TS、受信モード、RFゲインを設定できるようになりました。(MENU > スキャン設定 > P-Scan エッジ)

追加 一時スキップの機能

- 一時スキップの登録数がVFOモード、メモリーモードそれぞれで、5件から20件に増加しました。
- VFOスキャンで一時停止中、[SKIP]を長く押すと、「SKIP CHグループ登録」と「一時スキップ 登録」を選択できるようになりました。
※従来からのスキップ指定操作は、「SKIP CHグループ登録」を選択し、メモリー管理の「S:SKIP CH」に登録します。
- QUICKメニューの、「一時スキップ」が「一時スキップ 登録」に変わり、「一時スキップ 解除」が追加されました。
- 「カスタマイズキー」項目で、VS-3のカスタマイズキーに「一時スキップ」を割り当てて長押しをすると、一時スキップの解除ができるようになりました。
(MENU > Bluetooth設定 > ヘッドセット設定 > アイコムヘッドセット > カスタマイズキー)
- 「一時スキップ時間」項目の選択肢に「スキャン中」と「電源ONの間」が追加されました。

一時スキップ時間 (初期設定：5分)

MENU > スキャン設定 > 一時スキップ時間

スキャン中に一時スキップ指定をしたとき、その指定を有効にする時間を設定します。

※ Aバンド(上側)、Bバンド(下側)ごとに設定できます。

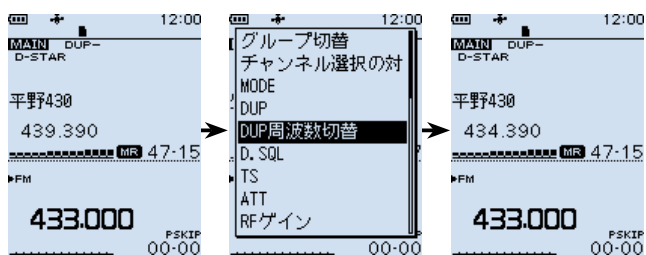
- 選択肢：5分、10分、15分、スキャン中、電源ONの間

追加 デュプレックス(DUP)スキャン

スキャンタイプに、DUPスキャンが追加になりました。VFOモード、またはメモリーモードで、デュプレックス運用のとき、どちらの周波数(シフト元/シフト先の2波)もスキャンできます。
※「DUP-」、または「DUP+」表示の点灯をご確認ください。
※オフセット周波数が「0.000MHz」のときは動作しません。
※デュプレックス通信の受信設定については活用マニュアルの7章をお読みください。
※スキャン一時停止後、信号が消えてからスキャンが再開するまでの時間(「再スタート時間」)は、200msecで固定です。

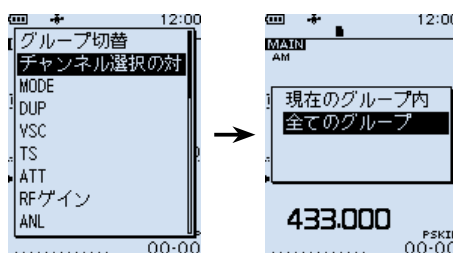
追加 メモリースキャン中のDUP確認機能

- デュプレックスを設定しているメモリーチャンネルでは、オフセット周波数分だけシフトした周波数もメモリースキャン対象にする機能を追加しました。
※これにより、デュプレックスを設定している周波数は自動でオフセット周波数分シフトした受信周波数のスキャンもできるようになりました。
※上記の機能は、スキャン設定にある「DUPチェック(MRスキャン時)」項目でON/OFFできます。
(MENU > スキャン設定 > DUPチェック(MRスキャン時))
- メモリースキャン中にデュプレックス設定のチャンネルで一時停止中、QUICKメニューからオフセット周波数分シフトした周波数を確認できるようになりました。
[QUICK]を押して、「DUP周波数切替」を選択することにより、オフセット周波数分シフトした周波数と元の周波数を交互に表示します。



変更 メモリーモード時のダイヤル切替操作拡張

[DIAL]を回してメモリーチャンネルを呼び出すとき、登録したグループすべてを[DIAL]で呼び出せる設定を追加しました。
[QUICK]を押して、「チャンネル選択の対象グループ」を選択し、「全てのグループ」を選択すると有効になります。



変更 最寄局検索/最寄局スキャンの対象設定

SKIP/PSKIP指定したメモリーチャンネルを、最寄局検索と最寄局スキャンの対象からはずしました。

最寄局検索(MENU > 最寄局検索)

最寄局スキャン(メモリースキャン時)

変更 受信時のバックライト機能

デジタルモードで受信したときにバックライトが点灯する従来の設定に加え、すべての受信モードで受信音が聞こえたときに点灯する選択肢が追加になりました。

この変更により、項目名もデジタル受信バックライト(初期設定:ON)から変更になりました。

受信バックライト (初期設定: デジタルモード)

MENU > ディスプレイ設定 > 受信バックライト

信号を受信したときに、バックライトを点灯するか、しないかを設定します。

- OFF : 信号を受信してもバックライトを点灯しない
- デジタルモード(従来の選択肢名はON) :
デジタル信号を受信してポップアップが表示されたときにバックライトを点灯する
※メッセージが繰り返し表示されたときは、点灯しません。
- 全て(今回追加された選択肢) :
受信音が聞こえたとき、またはデジタル信号を受信してポップアップが表示されたときにバックライトを点灯する

変更 スケルチ連動録音のファイル分割改善

「受信録音条件」を「スケルチ連動」設定時、「ファイル分割」を「ON」に設定すると、信号を受信しているあいだ録音し、信号が途切れると新しい録音ファイルを生成していましたが、下記の条件でもファイルを分割するように変更しました。

- 動作モード(VFO/メモリー)を切り替えたとき
- 周波数を切り替えたとき
※DIAL操作時 : 5kHz以上変化で分割、
WFM時は200kHz以上変化で分割
テンキー入力時: 入力が完了した時点で分割
- メモリーチャンネルを切り替えたとき
- 受信モードを切り替えたとき
(FM⇄FM-N、AM⇄AM-N、CW⇄CW-R除く)
- スキャンを開始したとき(DUPスキャン、TONEスキャン除く)
- PRIOスキャン中に指定したチャンネルを受信したとき/受信したあとVFOに戻ったとき
- VFOスキャン中に信号を受信したあと、別の周波数を受信したとき
※5kHz以上変化で分割、WFM時は200kHz以上変化で分割
- メモリースキャン中に信号を受信したあと、別のチャンネルを受信したとき
- デジタルモードで終話コードを受信したとき

変更 Bluetoothヘッドセットと内蔵スピーカーの音量設定

Bluetoothヘッドセット使用時と内蔵スピーカー使用時の音量設定を共通にしていたのですが、個別に音量設定できるように変更しました。

追加 Bluetoothヘッドセットの自動切断機能

Bluetooth設定に「自動切断」を追加しました。

自動切断 (初期設定: OFF)

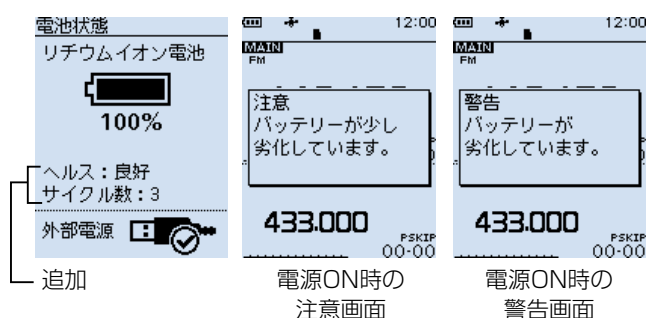
MENU > Bluetooth設定 > ヘッドセット設定 > 自動切断

Bluetoothヘッドセットからの音声出力がなく、本製品を操作しない状態がつづいたとき、ヘッドセットとのSCO(Synchronous Connection-Oriented)リンクを自動で切断するまでの時間を設定できるようになりました。

※SCOリンクを切断中に音声を受信したり、ピープ音が鳴ったり、操作したときは、自動でSCOリンクを接続します。

変更 バッテリー状態表示

- 「電池残量」を「電池状態」に変更しました。
(MENU > その他 > 本体情報 > 電池状態)
- 電池状態画面にバッテリーヘルスと充放電サイクル数の情報を追加しました。
※バッテリーパック(リチウムイオン電池)使用時は、バッテリーパックの状態を良好/注意/警告の3段階で表示し、充放電サイクル数を表示します。
※バッテリーヘルスが警告の場合は、バッテリーパックが劣化していますので、早めに交換してください。
- バッテリーパックが劣化すると、電源を入れたときに注意画面、または警告画面が表示されるようになりました。



追加 設定セーブバージョン項目

SDカードに「設定セーブバージョン」を追加しました。

設定セーブバージョン (初期設定: 現行バージョン)

MENU > SDカード > 設定セーブバージョン

本製品に設定したメモリーチャンネル、MENU画面内の各設定項目などをmicroSDカードに保存するときの、バージョン形式を設定できます。

- 現行バージョン : 設定データを現行のバージョン形式で保存する
- 旧バージョン(1.00-1.06) : 設定データを旧バージョン形式(1.00-1.06)で保存する

ご注意

- 旧バージョン形式でmicroSDカードに保存すると、バージョン1.10以降に追加された設定は保存されません。
- 現行バージョン形式で保存された設定データを、旧ファームウェアバージョンの本製品で読み込むことはできません。

変更 CI-Vコマンド

仕様変更に伴い、CI-Vコマンドを追加/変更しました。詳細については活用マニュアルの7章をご覧ください。